

まちづくり懇談会内容【公開用】

日 時：令和 6 年 7 月 11 日(木) 18：30～20：13

場 所：農村環境改善センター

出席者：16 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. 懇談

(1) 令和 6 年度の推進事業について (資料①参照) 町長説明

(2) 自由懇談

4. その他

- ・町内会・自治会からの質問・意見に対する回答
別紙「関係機関・団体からの質問・意見」に対する回答一覧
- ・エフエムくりやまについて (資料②参照)
- ・緊急告知 FM ラジオについて (資料③参照)
- ・ごみの分別 (リサイクルの推進) について (資料④参照)

5. 閉会

《懇談内容》

【自由懇談・全体質疑応答】

●マイナ保険証について

町民：個人情報への漏洩等に不安があるので、まだマイナンバーカードを取得していない。

マイナンバーカードと保険証との紐づけをしなくとも、従来の紙の保険証でも対応できるように、道や国へ要望してほしい。また、資格者証を取得する際の手続きについて、栗山町ではどういった対応をするのか。

町長：支援が必要な方へ、迅速に対応が出来るようにという主旨でマイナンバーカードの活用促進が始まった。マイナ保険証について、12 月以降マイナンバーカードを取得していない人へは資格者証が発行されると私どもも聞いている。トラブルや情報管理面の不安があるのは事実であるので、国に対してしっかりとした制度設計をしてほしい

という要望を行っている。マイナンバーカードやマイナ保険証の制度自体に対しては、同じ薬を重複して受け取っている等の課題を是正し、必要な方へ必要な医療を届けるといった形を整えていくための制度と理解しており、これから先の時代を考えても、マイナンバーカードの制度は必要なものと考えているので、私から国へ、制度の見直し等を要望することはない。資格者証発行の対応については、まだ詳細が届いていない。分かり次第、町民の皆さんへ周知していく。

町民：栗山町独自の対応として、資格者証を郵送する等の対応を取ってほしいと思うがいかかが。

町長：先ほど申し上げたとおり、まだ詳細の連絡がきていないので、連絡があり次第検討を進めていく。

●緊急告知 FM ラジオの配布状況、移住、中里団地の建て替えについて

町民：緊急告知 FM ラジオの配付状況は現在どのくらいか。令和 5 年の移住者は 16 組 39 人となっているが、移住コーディネーターが関わって移住した方はどのくらいか。中里団地の建て替えの件について、現在 144 戸あるが、建て替え後は 96 戸になる。今まで入居した方が新しい団地へ入居できなくなるということはないか。

総務課長：緊急告知 FM ラジオの配付率については、7 月 10 日現在で 32%となっている。世帯数としては、1,800 世帯ほど。

若者定住推進課長：移住コーディネーターが関係した数は、10 組ほどとなっている。

建設課長：現在中里団地には 116 戸の入居となっている。希望の聞き取りをしながら、現在入居している方が入居できないことはないように対応していく。

町民：中里団地建て替えの説明会時に、粗大ごみは早めに捨ててくださいという話があった。役場の方に粗大ごみを捨てる相談をした際、玄関先まで出しておいてくださいとの返答があったとのこと。高齢の方は玄関先まで出しておくのは難しいのでは。

建設課長：基本的には通常の粗大ごみの出し方と同じ対応となるのでご理解頂きたい。

●杵臼本線の道路工事について、

町民：工事関係者の車両や資材が、利用しているごみステーション近くの敷地に置かれるようになっていたが、自分たちは全く知らなかった。毎年ごみステーション周辺の草取りを町内会で行っているが、今年は草取りを行った直後に車両や資材が置かれるようになり、あまり快く思わない方がいた。そういったことがあれば、早めに連絡がほしい。

建設課長：地域の方にご迷惑をお掛けし申し訳ありません。情報提供は決まった段階で早めに行っていくよう以後気を付けていく。

●教職員の働き方について

町民：現在、教職員の数が少ないということが報道等でも問題になっている。残業時間も

多いと聞く中、町内の教職員の方の働き方の状況について教えてほしい。

教育長：教職員の定数について、栗山町は満たされている状況となっている。空知管内全体としては、小学校について満たされていないというのが現状。栗山町においては、教職員の働き方改革を進めていたが、今年の夏を目途に重点項目から外す予定としている。会議方法の変更等、業務の見直しを進めた結果、長時間勤務とされている時間数の基準を下回ることが出来たため。部活動による超過勤務の発生が、引き続き課題として残っているが、こちらについては、部活動の地域移行を進めおり、町内外の指導者の方や団体と交渉中。できる部分から、栗山町として対応していきたいと考えている。

●防災対策について

町民：栗山町の防災に対する現状の課題と今後重点的に力を入れていく項目についてお聞きしたい。

町長：課題という点では、非常時に情報伝達を行う手段が今までなかった。議論の結果、緊急告知 FM ラジオの配付という選択となった。理由としては、南北に広い栗山町にとって、地域ごとに天候や災害発生時の状況が違う中で、きめ細やかな情報を届けていきたいと考えたことが1つ。もう1点は、過酷な避難所生活を送る中で、温かみのある情報を皆さんの元に届けたいという点がある。ラジオの配付率の向上に、力を入れていきたい。もう1点課題としては、近年は今まで想定出来ていなかった災害が起きる時代となり、防災計画の修正を行う予定。これまではどちらかと言うと男性の視点での防災計画であったが、今後は女性の視点を含めた実効性のある計画にしていきたいと考えている。

●角田神社の樹木の管理、高齢者への対応について

町民：角田神社の樹木が強風で倒れて、社務所に当たりそうだった。今後も周辺の樹木で同じようなケースが考えられるが、管理方法・対策について検討いただきたい。また、地域の高齢者の声を吸い上げるような仕組みづくりを検討していただきたい。

建設課長：角田神社の樹木の管理について、状況を確認して適宜検討していきたい。

福祉課長：高齢者の相談窓口としては、福祉課に町の地域包括支援センターがあり、生活面や心身の不安等々、相談を頂ければ対応可能なので声を寄せて頂ければと思う。

●町の防災メール、中里団地建て替えの入札について

町民：町の防災メールに登録している人にしか、メールが届かないのか。登録者数はどのくらいか。中里団地建て替えの入札について、現在行っている指名競争入札ではなく違う形を取った方が良いと考えている。

総務課長：町の防災メールについては、登録した方へのみメールが届く形となる。登録者数は500件ほどとなっている。

建設課長：工事の発注については、工事の規模や期日を考え、役場内で指名業者を選定して発注することとしている。また、今回の様な億単位を超えるような工事の際は、資金繰りや資材の調達状況等、業者の規模や技術面を踏まえて、指名業者を選定していく形となる。

●ごみの捨て方について

町民：生ごみを入れたビニールの袋は燃やせるごみの袋に入れてもよいか。

環境政策課長：燃やせるごみの袋に入れて問題ない。

以 上